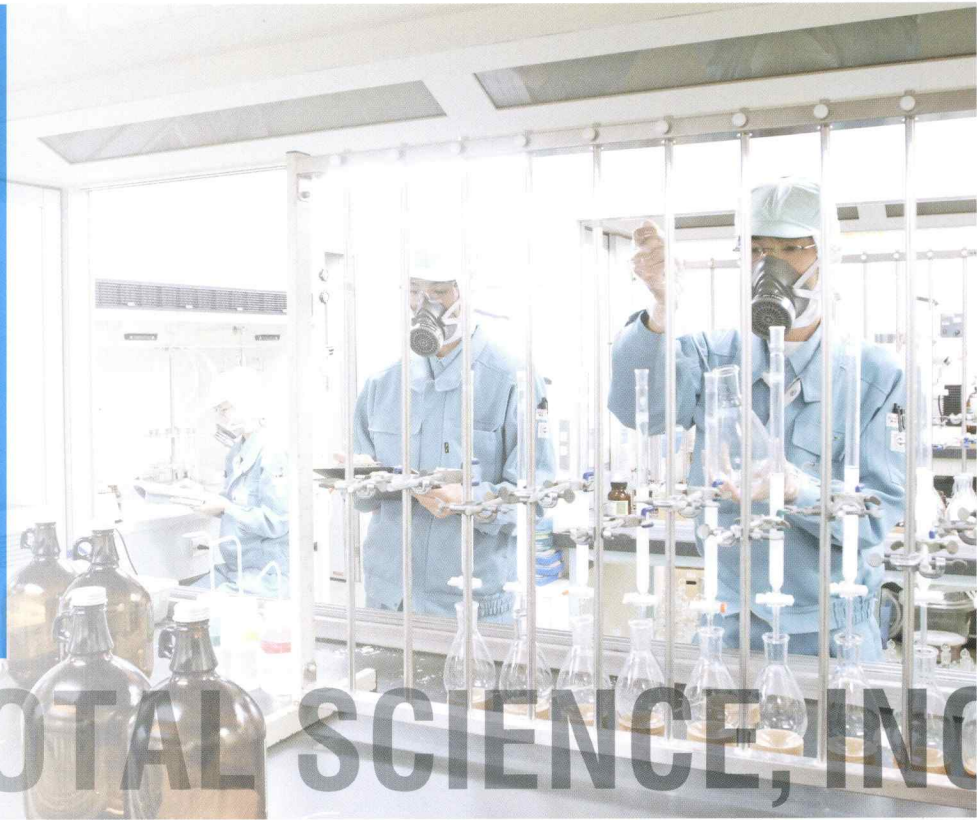


Aims at harmony between people and environment.

—— 人と環境の調和をめざして ——

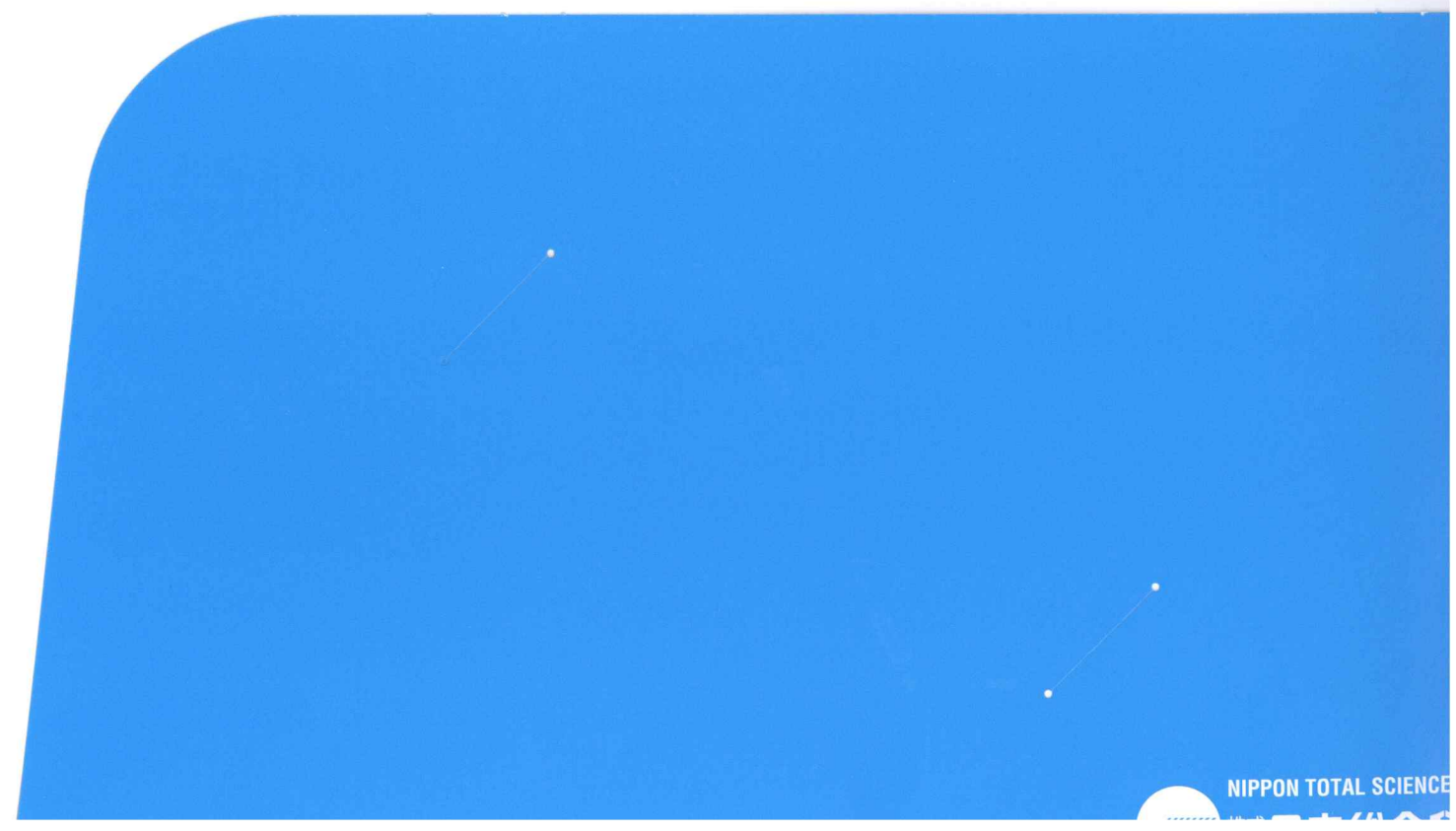
Correctness
Research
Service
Intellect
Reliance
Effort
Passion
Cooperation



NIPPON TOTAL SCIENCE, INC.



NIPPON TOTAL SCIENCE, INC.



会社概要

令和2年10月現在



商号	にほんそうごうかがく 株式会社 日本総合科学
英訳名	NIPPON TOTAL SCIENCE, INC.
所在地	ひろしまけんふくやましみのしまちょうみなみがおか 広島県福山市箕島町南丘 399 番地 46
設立	昭和62年9月（昭和47年4月創業）
資本金	8,800万円
代表取締役	ちかもと としゆき 近本 肥子
事業内容	計量証明事業・厚生労働省登録水道法検査機関・環境省指定土壤汚染調査機関 食品衛生法登録検査機関・温泉分析登録機関・他
従業員	65人（正社員）

シンボルマークとロゴ



シンボルマークの丸は地球と太陽を表しています。8本のラインは、1.正確(Correctness)2.研究(Research)3.奉仕(Service)4.英知(Intellect)5.信頼(Reliance)6.努力(Effort)7.情熱(Passion)8.協力(Cooperation)の8つのコンセプトを表現しています。コンセプトを基に、我々が目的に向かってつき進んで行く様子をデザインしたものです。

イメージカラーは豊かな環境(海、空)を表すスカイブルーです。

株式会社 **日本総合科学**

NIPPON TOTAL SCIENCE 略称 **NTS**

経営理念／品質・環境統合方針

環境測定分析及び総合的な環境調査、食品検査等の当社事業を実施するにあたり、お客様に信頼されるサービスを提供し、ご満足いただくための経営理念として、以下の事項を確実に実行することを表明します。

■ 経営方針・事業目的

生命の母体である地球。人類の生活が始まり幾多の歳月と生活を繰り返してきた現在、科学の進歩は目覚ましいものがある。そして、今、環境の保全に目を向けなければならない時代となった。人類の豊かな未来は人と環境との調和にかかっている。それは母なる地球の願いのように思える。

当社は環境総合コンサルタントとして環境に関する問題に取り組んでいる。我々は住みよい環境を創造するために、培ってきた環境保全に関する技術等を基に、自社の環境負荷の低減はもとより、環境事業の使命を認識し地球環境の保全を図り、社会の明るい未来に貢献するものである。

その基本方針は、

- ・ 日本社会の持続的発展を可能にすること
- ・ 日本の環境創造に貢献すること
- ・ 日本の経済的、文化的発展に寄与すること

であり、これにより我が国が全世界の継続的発展に貢献することを究極の目的とする。

企業の行動（我等の誓い）

- 一、我々は、人と環境との調和を願いあらゆる努力をおしまない。
- 一、我々は、科学技術の粋を結集し明るく豊かな社会創りに奉仕する。
- 一、我々は、正確、迅速そしてたゆまぬ研究を使命とする。
- 一、我々は、英知と勇気と情熱をもって実行し反省する。
- 一、我々は、信頼と理解を深め互いに協力し向上する。

■ 品質・環境統合方針

私は、当社のマネジメントシステムの最高責任者として、以下の統合方針を定め、全社員に周知徹底を図り、その維持、実行に努める。

1. お客様に最高の製品を提供し続けるため、品質・環境マネジメントシステムを確立し、有効性の継続的改善に努める。
2. 住みよい環境を創造するため、培ってきた環境保全に関する技術を基に、環境負荷の低減はもとより、汚染の予防を図る。
3. 事業活動に関連するすべての法律、規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。

本方針達成のため、品質目標、環境目的・目標を具体的に設定し、活動内容の見直しを毎年行い、継続的な改善を行う。

平成 20 年 10 月 1 日
株式会社 日本総合科学
代表取締役 近本 肥子

代表者挨拶



地球に人の生活が始まり、幾多の歳月と生活を繰り返し、日々最先端の技術が変遷する現代。この時代に生きるわたしたちの目の前には、いわゆる環境問題という、厚く高い壁が立ちはだかっております。

地球温暖化というグローバルなものから、身近ではダイオキシン類や残留農薬などによる影響が懸念され、安全・安心な食生活も脅かされつつあります。

私たちは昭和62年(1987年)設立以来、環境全般についての総合的な調査・分析と、身近な食の安全・安心を守るための食品の成分分析・衛生検査を行い、地域社会はもとより全国のお客様のニーズに応えてまいりました。

そしてこれからも「人と環境との調和」「食の安全・安心」を願い、最新の知識・技術の習得に努め、年々高度に要求される精度管理に対応してゆきます。さらに若い力と情熱を結集し、『正確』『迅速』『研究』をモットーとし、お客様の良きソリューション・パートナーとなるべく日々研鑽に努め、果敢にチャレンジし続けます。

あらためまして、今日まで多くの方々からお寄せいただきました、信頼と評価に心より感謝申し上げます。

今後とも皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年10月1日
株式会社 日本総合科学
代表取締役 近本 肥子



沿革

(令和2年10月現在)

昭和47年	4月	株式会社福山臨床検査センター（本社：広島県福山市）において環境衛生検査所・公害部新設
	10月	岡山支所 開設
昭和62年	9月	株式会社日本総合科学 設立（新会社への移行準備を進める）
	10月	岡山支所 移転
平成元年	5月	大阪支所 開設
	8月	計量証明事業所の登録を受ける
平成3年	9月	株式会社日本総合科学として事業を開始する
	10月	建築物飲料水水質検査業の登録を受ける
平成4年	3月	作業環境測定機関の登録を受ける
平成5年	8月	衛生検査所の登録を受ける
	9月	東京支所 開設
平成7年	5月	環境創造研究所開設
	12月	岡山支所にて計量証明事業所の登録を受ける
平成8年	5月	広島支所開設
平成10年	2月	山陰支所開設
平成11年	1月	福山市箕島町に本社移転
平成12年	2月	厚生省指定検査機関（水道法）の指定を受ける
	7月	ISO9001 認証を取得する
平成13年	6月	ISO14001 認証を取得する
	11月	建設コンサルタント登録を受ける
平成14年	7月	温泉法に基づく登録分析機関となる
	1月	土壤汚染対策法に基づく指定調査機関となる
平成15年	2月	特定計量証明事業所の登録を受ける
	11月	大阪府土壤汚染状況調査指定機関をとなる
平成16年	3月	厚生労働省登録水道検査機関となる
	1月	臭気測定認定事業所の登録を受ける
平成17年	3月	有機農産物登録認定機関となる
	4月	食品衛生法登録検査機関となる
平成20年	8月	遺伝子分析を開始する
平成23年	9月	社歌を制定する
	10月	放射能測定を開始する
平成27年	6月	農業用土壌分析を開始する
平成29年	9月	創立30周年
平成30年	10月	島根支所開設
令和2年	2月	ISO/IEC17025:2017 認定を取得する

事業登録・認定事業／有資格者種別一覧／外部精度管理運営機関名

■ 事業登録・認定事業

(令和2年10月現在)

計量証明事業所	広島県登録第 K-61 号 (濃度)
	第 K-62 号 (音圧レベル)
	第 K-67 号 (振動加速度レベル)
	第 T-4 号 (特定濃度)
	岡山県登録第 7-12 号 (音圧レベル)
認定特定計量証明事業者	N-0052-01
作業環境測定機関	34-25
衛生検査所	福山市保総第 62 号
建築物飲料水水質検査業	広島県 09 水第 3031 号
厚生労働省登録水質検査機関	第 104 号
建設コンサルタント	建 28 第 7352 号 登録部門建設環境
温泉分析登録	広島県第 2 号
土壌汚染対策法指定調査機関	2003-6-1001
臭気測定認定事業所	第 285 (04) 号
食品衛生法登録検査機関	厚生労働省発中厚 第 0401001 号

■ 主な有資格者

(令和2年10月現在)

博士	7人	環境計量士	10人
技術士	2人	技術士補	10人
RCCM	1人	地質調査技士	2人
1級土木施工管理技士	1人	作業環境測定士	6人
生物分類技能検定 1級	1人	ビオトープ管理士 2級	3人
臭気判定士	5人	放射線取扱主任者	1人
公害防止管理者	13人	環境測定分析士 2級	1人
潜水士	7人	環境騒音・振動測定士初級	2人
環境測定分析士 3級	14人	応用情報技術者	1人
土壌汚染調査技術管理者	2人	アスベスト診断士	1人
建材製品中の石綿含有率のクロスチェック	「Aランク認定分析技術者」		3人
特定建築物石綿含有建材調査者	2人	土壌医検定 2級	3人
環境大気常時監視技術者 (専門)	1人	土壌医検定 3級	3人
HACCP 指導者養成研修修了者	2人	食品安全マネジメントシステム審査員補	1人
食品微生物検査技士 2級	1人	臨床検査技師	2人
管理栄養士	2人	建築物石綿含有建材調査者	3人

■ 主に参加している外部精度管理運営機関名

(一社) 日本環境測定分析協会	厚生労働省
環境省	(一財) 食品薬品安全センター 秦野研究所



保有機器一覧

■ 主な保有機器

(令和2年10月現在)

X線回折装置

位相差／偏光顕微鏡

マイクロスコープ

原子吸光分光光度計

還元気化原子吸光光度計

加熱気化原子吸光光度計

ICP発光分光分析装置

ICP質量分析装置

ガスクロマトグラフ (FID,ECD,TCD, FPD, FTD)

ガスクロマトグラフ質量分析計 (ヘッドスペース, 加熱脱着, キャニスター, パージアンドトラップ)

ガスクロマトグラフ・タンデム四重極型質量分析計 (GC/MS/MS)

高性能二重収束ガスクロマトグラフ質量分析計

高速液体クロマトグラフ

高速液体クロマトグラフ・タンデム四重極型質量分析計 (LC/MS/MS)

イオンクロマトグラフ

分光光度計

オートアナライザー (窒素, リン) (フッ素, シアン, フェノール)

BOD 自動分析装置

全有機炭素計

自動ガラス電極式水素イオン濃度計

自動色度・濁度測定器

ポータブルガスクロマトグラフ (クロロエチレン対応可)

窒素酸化物自動計測器

二酸化硫黄自動計測器

浮遊粒子状物質自動計測器

一酸化炭素自動計測器

炭化水素自動計測器

オキシダント自動計測器

風向風速計

温湿度計

気象計 (風向風速計、温湿度計、日射放射計、遠隔監視装置)

ハイボリウムエアースンプラー

潮流計

騒音計 (普通・精密)、低周波騒音計

振動計

普通形自動試料採取装置 ダスタックサンプラー

ポータブルガス濃度測定装置

ポータブルVOC分析計

ローボリウムエアースンプラー

粉じん計

タンパク質自動分析装置

フーリエ変換赤外分光分析 (FT-IR)

エネルギー分散型蛍光X線分析装置

食物繊維定量装置

ゲルマニウム半導体検出器ガンマ線核種分析装置

GM 計数管式サーベイメータ

Nal (TI) シンチレーションサーベイメータ

DNA シーケンサー

リアルタイム PCR

土壌診断・施肥設計システム

元素分析計

多項目水質計

地下水流向流速計

流速計

全窒素・全炭素分析計 (CN 計)

水分活性測定装置

EC 計

事業所一覧

■ 事業所一覧

(令和2年10月現在)

事業所名	所在地
■ 本 社	〒721-0957 広島県福山市箕島町南丘 399 番地 46 Tel.(084)981-0181 (代表) Fax.(084)981-0171 営業時間 9:00~18:00 (日祝祭日除く)
□ 環境創造研究所※	〒721-0957 広島県福山市箕島町南丘 399 番地 46 Tel.(084)981-0181 Fax.(084)981-0171
□ DNA 多型検査室※	〒720-0832 広島県福山市水呑町 456-2FMLGroupOffice4F Tel.(084)956-4448 Fax.(084)956-4449
■ 東京支所	〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 28 番地 エクセル神田 7 階A号室 Tel.(03)3526-2253 Fax.(03)3526-2254
■ 大阪支所	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国 4 丁目 11 番 4 号 新大阪明成ビル 3F Tel.(06)6151-2572 Fax.(06)6151-2573
■ 岡山支所	〒700-0965 岡山県岡山市北区西長瀬 261-105 Tel.(086)245-8213 Fax.(086)246-4091
■ 広島支所	〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里 1 丁目 2-7 Tel.(082)263-6561 Fax.(082)262-1278
■ 山陰支所	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎 1 丁目 5-12 Tel.(0859)37-2061 Fax.(0859)37-2062
■ 島根支所	〒699-0111 島根県松江市東出雲町意宇南 6 丁目 4-7 ラメゾン プロスペリテⅡ 101 Tel.(0852)67-1666 Fax.(0852)67-1667

測定・分析

ダイオキシン類分析
絶縁油中のPCB分析
アスベスト分析
大気(ばい煙)測定
水質分析
土壌・底質分析
産業廃棄物分析
騒音・振動測定

悪臭分析
残留農薬分析
作業環境測定
飲料水分析
環境ホルモン分析
温泉分析
放射能測定
農業用土壌分析

環境・調査

自然環境調査

海域生物調査

魚類、底生生物、付着・干潟生物、
動・植物プランクトン、
魚卵・稚仔魚、藻場

陸域生物調査

哺乳類、鳥類、両生・爬虫類、
昆虫類、魚類、底生動物、
付着藻類、植物

生活環境調査

大気質、水質、騒音・振動、
悪臭、土壌

環境影響評価

潮流解析、
水質汚濁シミュレーション、
大気質拡散シミュレーション、
騒音・振動解析、
気象(上層)調査、
水象調査、潮流調査

DNA解析調査(ISO9001/ISO14001適用外)

食品・衛生

微生物検査

栄養成分分析

食品添加物分析

有害物質等分析

残留農薬分析

食物アレルギー物質分析

食品容器等分析

食品衛生

コンサルタント業務

拭き取り検査

食品衛生教育

異物確認検査

腸内細菌検査

<https://www.ntsc.co.jp>